

設計・施工方法の合理化への取り組み

- 鉄塔防錆塗装は高所での作業であり、安全に配慮しつつ高品質の塗装を行うためには当該作業に精通した施工会社で実施する必要があるため、施工実績の豊富なグループ会社へ特命発注していますが、以下の取り組みによりコスト削減に取り組んでいます。
 - 一部の鉄塔防錆塗装について競争を実施し、いずれも特命先のグループ会社の落札を確認。
 - 上記以外の特命発注分についても、競争発注した場合と同等の水準以下の価格で契約。
 - さらに、作業の実施時期を平準化することで稼働率を向上させ、これによる固定費削減効果を発注価格に反映。

《鉄塔防錆塗装の価格検証結果》

- ・H24~27年度にかけて、一部で競争を実施。
- ・いずれも特命先のグループ会社が落札。
- ・上記以外のグループ会社への特命発注分についても、ターゲットプライスを活用し、競争発注した場合と同等水準以下の価格で契約。



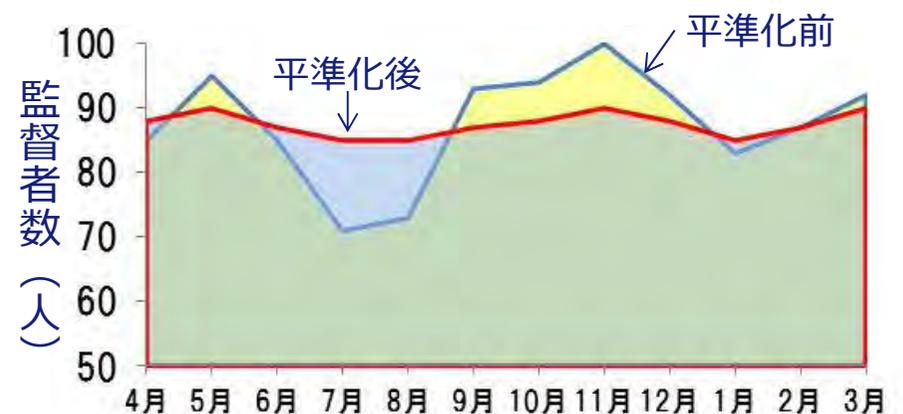
《平準化調整のイメージ》

【平準化前】

- ・送電線を停止しやすい時期に作業が集中。

【平準化後】

- ・塗装作業の計画を当社と施工会社間で共有し、作業実施時期を年度間・月間で調整することにより、施工会社の稼働率が向上。

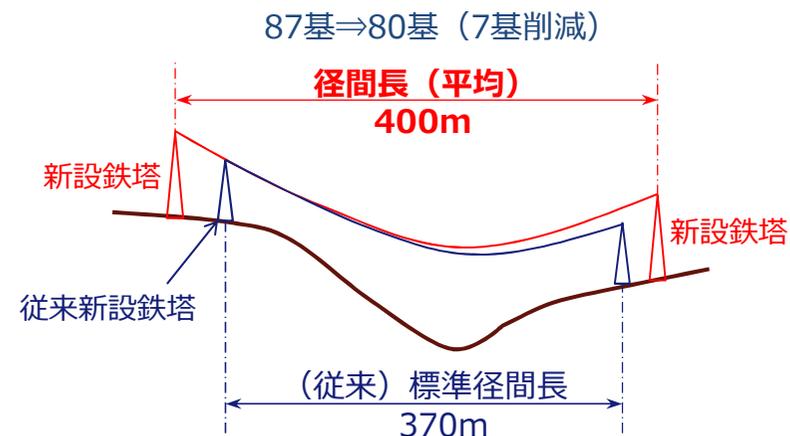


- 潮流ネック箇所の基幹系統整備として進めている広島東幹線一部増強工事（平成29年運転開始予定，電圧22万V，こう長約33 km）において，設備の合理化や工法の見直しにより従来に比べ工事費の大幅な削減を図っています。

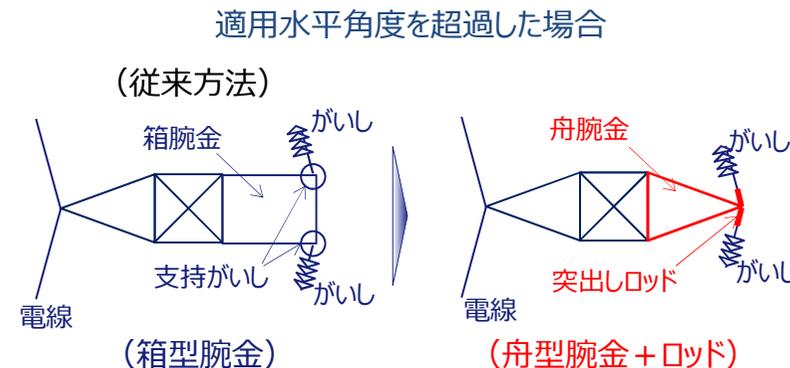
〈工事費削減の取り組み〉

項目	具体的内容
鉄塔・基礎設計の合理化	22万V鉄塔の仕様統一による設計の合理化，実荷重による基礎設計等
鉄塔基数の削減	長径間化による鉄塔基数削減
鉄塔重量の軽減	鉄塔腕金の形状見直し，鉄塔装柱の見直し等
工法の見直し	径間防護ネット工法の採用等
新技術の採用	低風音型インバー電線の採用等

（例：長径間化による鉄塔基数削減）



（例：鉄塔腕金の形状見直し）



参考資料（流通設備の概要）

鉄塔 (21千基)

発電した電気を変電所へ送電



遮断器 (8千組)

電力の送電・停止や送電経路の切替



変圧器 (1千台)

供給する電力の規模に適した電圧へ変換



() は施設数 (H28.3月)

